

## 地元には様々な技術支援を期待

物資保持機構の開発にあたっては、工場の自動化設備、ロボット開発で実績があり、構造設計・制御設計の技術力を持つ有限会社協栄精機（南相馬市・佐藤正弘代表）に参画をいただいています。

その他として、協栄精機をはじめとして地元企業の方には、実証試験を実施するための、機体・エンジン・機器等の組立と整備、実験のデータ計測と解析をお願いしたいですね。

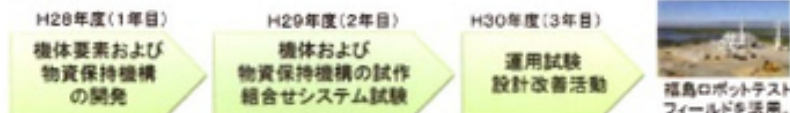
開発日程に関しては、1年目となる平成28年度に機体要素および物資保持機構の試作を始めています。平成29年度にはそれらの試作と組合せてのシステム試験を、3年目となる平成30年度は運用の試験を行う予定です。

福島ロボットテストフィールドにおける実証が、本UAVの実現に向けて重要となりますので、浜通り地域の皆様のご支援をお願いしたいと思います。



浜通り地域に拠点をもち、IHIと協栄精機の事業概要

### 【開発日程】



ダクトファンUAVの開発日程